

自動車安全運転センター創立40周年記念行事

自動車安全運転シンポジウム2015



実施報告書

○開催概要	_____	2
○開催内容		
・開会	_____	3
・基調講演/一般講演	_____	4.5
・パネルディスカッション	_____	6
・記念式典	_____	10
○広報パブリシティ報告	_____	14
○制作物	_____	24
○アンケート結果	_____	34

- 名称 自動車安全運転センター 創立40周年記念行事
- 主催 自動車安全運転センター
- 開催日時
 - 開催日：2015年11月2日(月)
 - 開催時間：13時30分～19時
 - ・シンポジウム : 13時30分～16時25分
 - ・記念式典 : 16時25分～17時10分
 - ・レセプション : 17時30分～19時00分 (対象者のみ)
- 開催場所 学術総合センター
 - 〒101-8439 東京都千代田区一ツ橋2-1-2
 - ・シンポジウム、記念式典 : 2F一橋大学 一橋講堂
 - ・レセプション : 2F中会議室2～4

■ シンポジウムプログラム

13:30	開会あいさつ 石井 隆之 (自動車安全運転センター理事長)
13:35	基調講演 「体調変化による事故を予防するために」 一杉 正仁 (滋賀医科大学社会医学講座法医学部門教授)
14:10	一般講演Ⅰ 「公共交通の安全と運転・操縦者の健康起因事故予防 — 鉄道医の医学適性検査の経験から —」 笠原 悦夫 (JR東日本健康推進センター医学適性科部長)
14:35	一般講演Ⅱ 「事故防止と疾病予防を目指した睡眠時無呼吸症候群 (SAS) 対策の重要性」 谷川 武 (順天堂大学大学院医学研究科教授)
15:00	一般講演Ⅲ 「視野狭窄患者と交通事故」 国松 志保 (東北大学・自治医科大学眼科講師)
15:45	パネルディスカッション コーディネーター 岩貞 るみこ (モータージャーナリスト/ノンフィクション作家) パネリスト 一杉 正仁、笠原 悦夫、谷川 武、国松 志保

■ 記念式典プログラム

16:25	開 会
	理事長あいさつ 石井 隆之 (自動車安全運転センター理事長)
16:40	来賓あいさつ 金澤 昭雄 (元自動車安全運転センター理事長)
16:45	ビデオメッセージ 今泉 正隆 (元自動車安全運転センター理事長)
16:55	感謝状贈呈 (受贈者) 公益社団法人全日本トラック協会 様 一般社団法人全日本指定自動車教習所協会連合会 様 一般社団法人日本損害保険協会 様
17:00	受贈者あいさつ 代表 公益社団法人全日本トラック協会 会長 星野 良三 様

◆ シンポジウム

開会あいさつ 石井隆之(自動車安全運転センター理事長)

自動車安全運転センター創立40周年記念行事の開催に当たり、石井理事長から挨拶があり、本日の記念行事は、これまでの歴史を振り返る記念行事として挙行するとともに、今後の交通安全対策に有益な情報を提供することにより、皆様の安全運転意識の向上に役立てていただくことを目的に開催させていただくものであるとの説明が行われた。

また、「自動車安全運転シンポジウム2015」においては、「健康起因の交通事故の実態とその防止」をテーマとして、医学的な観点から有識者の方々にご講演いただくとともに、パネルディスカッションでは、モータージャーナリスト、ノンフィクション作家の岩貞るみこ様のコーディネートのもと、講演者の皆様にパネリストとしてご参加いただき、健康管理及び運転者の健康状態に起因する交通事故防止の重要性について理解を深める内容としているとの説明が行われた。

さらに、「記念式典」においては、自動車安全運転センターの現状と今後の取組についてご報告させていただくほか、自動車安全運転センターの業務に関して多年にわたり顕著な功労のあった公益社団法人全日本トラック協会様、一般社団法人全日本指定自動車教習所協会連合会様、一般社団法人日本損害保険協会様に対する感謝の意を表させていただくとの説明が行われた。最後に、本日お越しいただいた皆様方がそれぞれのお立場で今後の交通安全に向けた取組を進めていく上でご参考となれば幸いと存じておりますと締めくくられた。



基調講演 一杉正仁(滋賀医科大学社会医学講座法医学部門教授)

基調講演では、滋賀医科大学社会医学講座法医学部門教授の一杉様から、「体調変化による事故を予防するために」と題して講演が行われた。一杉様からは、自動車事故の原因の約1割は運転者の体調変化に起因するものであり、その多くで、原疾患の管理が不十分であったこと、運転者が医師の指示を遵守せず、内服薬のアドヒアランス(患者が積極的に治療方針の決定に参加し、その決定にしたがって治療を受けること)も不十分であったことなどについて、事例をもとに説明が行われた。

また、運転者の健康状態に注目すべきことは喫緊の課題であり、運転者の疾病が良好にコントロールされること、日常の健康管理や適切な薬剤が選択されることが重要であると締めくくられた。



一般講演 I 笠原悦夫(JR東日本健康推進センター医学適性科部長)

一般講演 I では、JR東日本健康推進センター医学適性科部長の笠原様から、「公共交通の安全と運転・操縦者の健康起因事故予防－鉄道医の医学適性検査の経験から－」と題して講演が行われた。笠原様からは、鉄道の産業医は、その創成期より鉄道員の健康管理や労災防止に関わりながら公共輸送の発展に尽力してきたものであるが、運転関連従事者には、通常健康診断や運転技術の適性とは別に、健康起因の事故予防から身体にも適性を求める検査(いわゆる医学適性検査と呼ばれるメディカルチェック)が早期から行われていたことについて説明が行われた。

また、鉄道の医学適性検査の歴史をたどりながら、公共交通全体における運転操縦者の健康起因事故の予防に話題を広げつつ、健康起因事故の予防、医学適性検査の確立には、鉄道産業医のみならず、広く公共輸送に関わる人々の理解と協力が不可欠であると締めくくられた。



一般講演Ⅱ 谷川武(順天堂大学大学院医学研究科教授)

一般講演Ⅱでは、順天堂大学大学院医学研究科教授の谷川様から、「事故防止と疾病予防を目指した睡眠時無呼吸症候群(SAS)対策の重要性」と題して講演が行われた。谷川様からは、睡眠時無呼吸症候群(SAS:sleep apnea syndrome)は、交通事故と循環器疾患の両面でのリスクがあるとの説明が行われた。

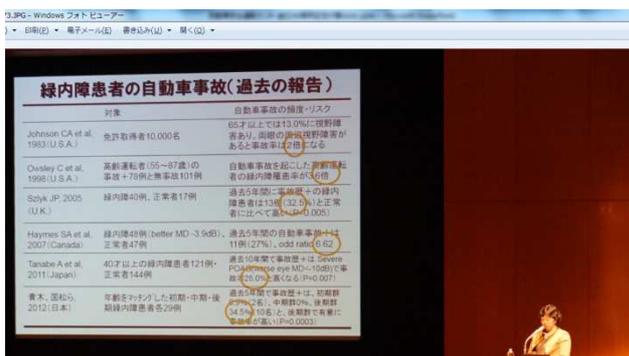
また、SAS患者数は数百万人と推定されるが、代表的な治療法であるCPAP療法(持続陽圧呼吸療法:睡眠時に鼻にマスクを付け、上気道に陽圧をかけることで気道を押し広げ、無呼吸を防ぐ療法)で治療中の患者数は僅か約30万人であり、業務中の交通事故で運転者がSASと診断された場合、民法上、その責任を企業が追及される可能性がある」と指摘した上で、早期発見・早期治療につなげることが安全の向上、健康増進、企業防衛に寄与すると考えられると締めくくられた。



一般講演Ⅲ 国松志保(東北大学・自治医科大学眼科講師)

一般講演Ⅲでは、東北大学・自治医科大学眼科講師の国松様から、「視野狭窄患者と交通事故」と題して講演が行われた。国松様からは、日本の運転免許(普通車)の取得・更新に当たっては、中心視力が良好である場合、視野検査は行われず、高度な視野狭窄があっても運転免許を取得することは十分可能であるが、視野狭窄患者の中には、視野狭窄による安全確認の不足が原因と疑われる交通事故を起こしている可能性があるとの説明が行われた。

また、視野狭窄と交通事故に関して、現在、どれくらい視野が狭いと交通事故が起きるのかといった事は分かっていないが、安全運転のための視野基準があり得るのか、ドライビングシミュレーターを用いた研究内容に触れつつ、引き続き研究を重ね、成果を発信してまいりたいと締めくくられた。



パネルディスカッション

コーディネーター 岩貞るみこ（モータージャーナリスト／ノンフィクション作家）

パネリスト 一杉正仁（滋賀医科大学社会医学講座法医学部門教授）

笠原悦夫（JR東日本健康推進センター医学適性科部長）

谷川武（順天堂大学大学院医学研究科教授）

国松志保（東北大学・自治医科大学眼科講師）

パネルディスカッションでは、モータージャーナリスト、ノンフィクション作家の岩貞様のコーディネートのもと、講演者の方々にパネリストとしてご参加いただき、健康管理及び運転者の健康状態に起因する交通事故防止の重要性について活発な意見交換が行われた。

席上で様々な立場から専門的な意見が披露されたものであり、岩貞様は、「健康問題は特別な方の問題ではなく、当たり前のものだということを確認する必要がある。まずは、自分の健康状態を知ることが重要であり、一人でも多くの方に健康で、自動車で移動し、働いていただくため、社会全体で考えていかなければならない」と締めくくられた。

《以下、主な発言》

【岩貞】

全国の緑内障の患者数が推定で350万人であるという数字に非常に驚いているのですが、やはり、症状になかなか気付きにくいといえますか、この数字についてどのようにお考えでしょうか。



【国松】

この350万人という数字は、40歳以上の日本人における緑内障有病率（5パーセント）を乗じた値なのですが、実際に眼科にかかっているのは35万人しかいないという計算になります。その理由として、一つ目は、人間の眼は2つあるため、片方が悪くなったとしても両眼で見ていることから気が付かないということがあります。二つ目は、緑内障は非常にゆっくりと症状が進行していく病気ですので、患者さんとしてはそういうものだと思われて、全く気が付かないといったようなことがあります。

【岩貞】

緑内障の原因と考えられるものは何でしょうか。予防することは可能なのでしょうか。

【国松】

色々考えられますが、現在、エビデンスがあるのは眼圧（眼球内圧）です。

正常眼圧が多いのですが、その方にとっての眼圧が高いということで、眼圧により視神経が圧迫されて障害が発生するというのが原因です。

予防することは困難ですが、初期症状で見つけることができれば、治療によりほとんどの方は困ることなく日常生活を送ることができますので、早期発見・早期治療が非常に重要といえます。



【岩貞】

笠原先生は鉄道の産業医として活動される一方、いわゆる医学適性検査を通じて運転適性の判断を行う立場にいらっしゃるわけですね。

【笠原】

そのとおりです。社員の健康管理を行うという面では企業の産業医の活動と同じですが、これに加え、鉄道産業医は、鉄道を利用されるお客様の安全、命を守るという大きな責任があります。このため、緊急時にも的確に対応できる状態にあるかを医学的な面から適性検査を行い、運転適性の判断を行う必要があるものであり、そういう意味では航空や自動車とは異なるのではないかと思います。



【岩貞】

糖尿病が強く疑われる方が950万人、予備軍の方が1,100万人ということに驚いているのですが、最近では、隠れ糖尿病の方が多いとの話を耳にすることを踏まえすと、やはり、肥満にだけ注意していればいいというわけではないのでしょうか。

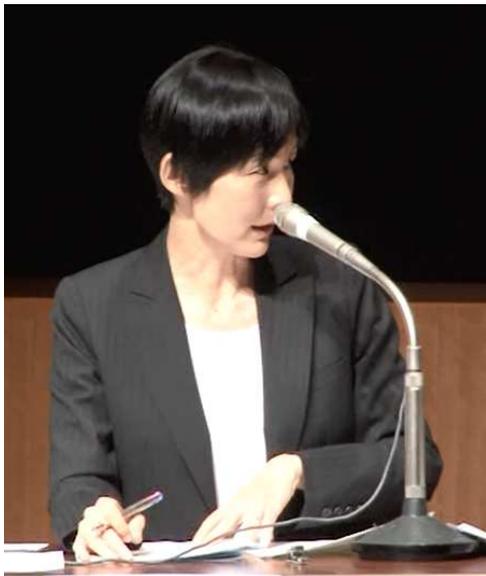
【一杉】

そうですね。先ほど糖尿病を例に出しましたが、やはり、コントロールが悪いと脳血管障害や心疾患等となるおそれがありますし、運転中の発作につながるものと考えられます。



【岩貞】

一杉先生は日頃から血管障害に注目され、高血圧を下げるのが交通安全につながるといったようなお話をよくされているようですが、やはり高血圧は問題となるのでしょうか。



【一杉】

運転行為自体が非常にストレスのかかる行動であり、運転するだけで普段の状態よりも血圧値が10程度上がります。職業運転手の方ですと、さらに10程度上がりますので、少なくとも運転により血圧値が10～20程度上がることになります。

そうなると、やはり、それなりに病気のリスクというものが高くなることになります。

特に、高血圧は症状が出ないこともありますので、例えば職場に血圧計を置き、血圧を管理することにより大分予防できるのではないかと考えております。

【岩貞】

最近、ニュース等で「睡眠時無呼吸症候群」という言葉を耳にするようになりましたが、谷川先生は以前より睡眠時無呼吸症候群に関する研究をなされていて、危機感を募らせていらっしゃると思います。どうすれば、睡眠時無呼吸症候群の方々に自らの症状を知っていただけたらとお考えでしょうか。

【谷川】

やはり、ご家族や職場の方々が意識を持つことも重要だと思います。睡眠時無呼吸症候群の症状の一つとして、「大きないびきをかく」ということが挙げられますが、これは非常に分かりやすい指標ですので、まずは、大きないびきが認められれば一度専門医に診てもらおうといった啓発・教育を行っていただくことが必要だと思います。



◆ 記念式典

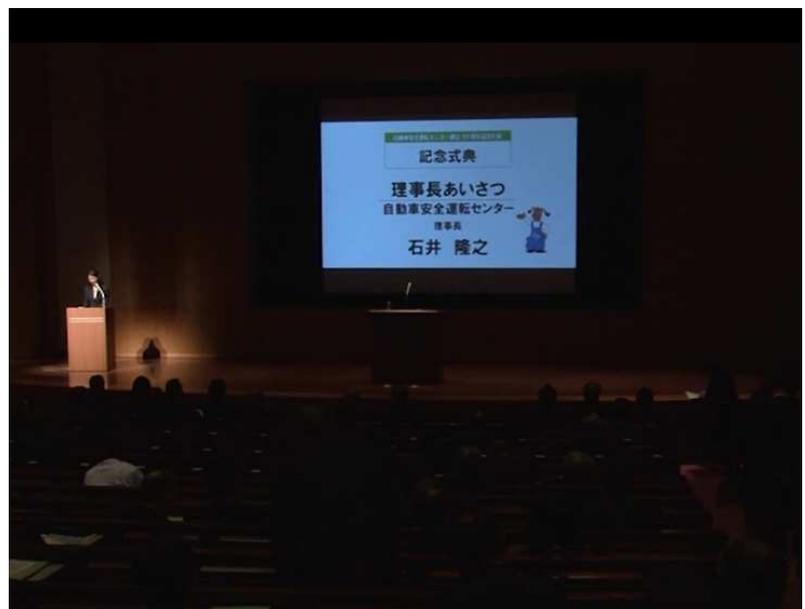
理事長あいさつ 石井隆之(自動車安全運転センター 理事長)

記念式典の開会に当たり、石井理事長から挨拶があり、創立40周年を迎えることができたのも、警察庁を始めとする関係省庁、各都道府県警察からのご支援、ご協力、センターで勤務をされた諸先輩方のご努力、平素からお世話になっている各団体、事業者様のおかげであるとの説明が行われた。

また、最近10年間のセンターの主な動きとして、平成22年度に実施した証明書交付手数料の引き下げに対する対応、東日本大震災への対応、イメージキャラクターであるSDワンダくんの制定及び各業務の現状について説明が行われた。

さらに、今後の取組として、運転経歴証明書を活用した交通安全対策のさらなる推進、最近の交通情勢の変化に適応した、安全運転中央研修所における柔軟な研修課程の設定についての検討、平成27年6月に成立した改正道路交通法への対応等について説明が行われた。

最後に、道路の交通に起因する障害の防止及び運転免許を受けた方等の利便の増進というセンターの設立目的を肝に銘じ、皆様のご支援、ご指導をいただきながら引き続きその使命を果たしてまいりたいと締めくくられた。



来賓祝辞 金澤昭雄(元自動車安全運転センター 理事長)

元自動車安全運転センター理事長の金澤様より、センター創立40周年を迎えるに当たり、センター設立時のいきさつ、安全運転中央研修所の建設地の選定等についてお話いただくとともに、お祝いの言葉をいただきました。



ビデオメッセージ

来賓祝辞 今泉正隆(元自動車安全運転センター 理事長)

元自動車安全運転センター理事長の今泉様より、ビデオメッセージを通じて、センター創立40周年を迎えるに当たり、安全運転中央研修所の建設時におけるご苦勞等についてお話いただくとともに、お祝いの言葉をいただきました。



感謝状贈呈

石井理事長より、センターの業務に関し、多年にわたり顕著な功労のあった公益社団法人全日本トラック協会様、一般社団法人全日本指定自動車教習所協会連合会様、一般社団法人日本損害保険協会様に対して感謝状が贈呈された。

**公益社団法人 全日本トラック協会会長
星野 良三様**



**一般社団法人 全日本指定自動車教習所協会
連合会会長
田中 節夫様**



**一般社団法人 日本損害保険協会 専務理事
堀 政良様**



受贈者あいさつ 星野良三様(公益社団法人全日本トラック協会会長)

感謝状の贈呈後、受贈者を代表して公益社団法人全日本トラック協会会長の星野様よりご挨拶をいただき、お礼の言葉をいただくとともに、センターが発行する運転経歴証明書が運送事業者の安全管理の重要なツールとして活用されているとの言葉をいただいた。



以上、自動車安全運転センター創立40周年記念行事は、警察庁を初めとする関係省庁、各都道府県警察関係者、センター関係者、各団体事業者、多数の方々のご参加の中、無事挙行された。



広報パブリシティ報告

「自動車安全運転シンポジウム2015」 パブリシティ掲載結果 メディア一覧

レスポンス（記事元）

Yahoo!ニュース

gooニュース

livedoorニュース

GooNET

carview

smartomaizu

GetOn

「笑点」50年の歴史 記念プレミアム切手セット発売 ファン歓喜「絶対買わないと」

スポーツニッポン（記事元）

Jchere

ニュース速報

【掲載数】

- ・記事元 2媒体
- ・転記記事 9媒体
- ・合計 11媒体

掲載日	10月19日	媒体名	レスポンス
URL	http://response.jp/article/2015/10/19/262305.html		

Language ▼ Android App iPhone App f t r Google カスタム検索 🔍 ログイン

Response 15th
emerging media
自動車

Volvo XC60に、プレミアム・ディーゼル登場
燃費18.6km/lを達成。*（CO2モード）（国土交通省審査値）
[詳細はこちら >](#)

ホーム 自動車 モーターサイクル 鉄道 船舶 航空 宇宙 エンタメ スcoop カーオーディオ

ホーム > 自動車 ビジネス > 国内マーケット > 記事

2015年10月19日(月) 11時45分

自動車安全運転シンポジウム「健康起因の交通事故の実態とその防止」...11月2日 一橋大学

自動車安全運転センター創立40周年記念行事
自動車安全運転シンポジウム2015
健康起因の交通事故の実態とその防止

2015年11月2日(月)
11時～15時
会場：一橋大学 一橋講堂

プログラム

11時～11時15分 開会式
11時15分～12時 講演1
12時～12時30分 昼食
12時30分～13時 講演2
13時～13時30分 講演3
13時30分～14時 講演4
14時～14時30分 講演5
14時30分～15時 閉会式

主催：自動車安全運転センター
協賛：国土交通省、警察庁、国土交通省自動車部、国土交通省自動車安全対策課、国土交通省自動車安全対策センター、国土交通省自動車安全対策センター、国土交通省自動車安全対策センター

TEL: 03-3463-3400
http://www.safecar.jp

>交通安全 特別編集

秋の交通安全運動、期間中の交通事故死は前年比9人増の...
スバル アクティブライフスクエア、子ども向け交通安全教室を...
MEGA WEB、アニメプラバラとの交通安全コラボイベント...

大好評の新型ロードスターを
もっと多くの人に
1day 無料レンタル!!

Be a driver.
TRY!
MAZDA
興業マツダ

[編集部にメッセージを送る](#)

NISSAN
Innovation that excites

NEW
NOTE | MEDALIST
プレミアムな選択、広がる。

MEDALIST X
MEDALIST X FOUR
誕生

[詳しくはこちら >](#)

最新ニュース

- 世にも珍しい左側航行は日本でここだけ...航路が変わる来島海峡【フォトレポート】
- 加速する電動化！BMW 5シリーズツーリングにもプラグインハイブリッド
- 【SBK最終戦】シヨナサン・レイ、連続表彰台獲得の新記録を樹立
- 「蔵粋車」と書いて「クラシックカー」...瀧川油販売店でミーティング開催
- 日産ノットロールに「巧」チューンのNISMOモデル...428hp

[最新ニュースをもっと見る](#)

編集部ピックアップ



GARMIN fenix 3J

アウトドアのタフさとスマートウォッチの機能性を融合した新GPSウォッチ。使い勝手はいいから

[注目録&インタビュー](#)

自動車安全運転センターは、同センター40周年記念行事として「自動車安全運転シンポジウム2015」を11月2日、一橋大学 一橋講堂で開催する。

自動車安全運転センターは、「自動車安全運転センター法」に基づいて設立された警察庁所管の特別民間法人。安全運転研修の実施、累積点数の通知、運転経歴の証明、交通事故の証明、安全運転の調査研究などの事業や、「無事故・無違反証明書」および安全運転者を証明する「SDカード」の発行などを行っている。

今回、自動車安全運転センターの40周年を記念して、「健康起因の交通事故の実態とその防止」をテーマにした「自動車安全運転シンポジウム2015」を開催。国内の有識者が集まり、体調変化による事故予防や公共交通の操縦者の健康起因事故予防、睡眠時無呼吸症候群対策の重要性、視野狭窄患者と交通事故などを発信していく。

講演者は滋賀医科大学社会医学講座法医学部門 一杉正仁教授、JR東日本健康推進センター 医学適正科 笠原悦夫部長、順天堂大学大学院 医学研究科 谷川武教授、東北大学病院眼科 国松志保講師の4名。

このほか、モータージャーナリストでノンフィクション作家の岩貞みこ氏をコーディネーターとして、講演者4名によるパネルディスカッションを行う。

参加費は無料。一般参加も可能で、事前申し込み制となる。

掲載日	10月19日	媒体名	Yahoo!ニュース
URL	http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20151019-00000019-rps-bus_all		

<災害募金> 寄付が2倍 台風21号与那国町災害支援募金 ウェブ検索

YAHOO! JAPAN ニュース IDでもっと便利に新規取得 Yahoo! JAPAN ヘルプ
ログイン

キーワードを入力 ニュース

トップ 速報 写真 映像 雑誌 個人 特集 意識調査 ランキング

主要 国内 国際 経済 エンタメ スポーツ IT・科学 ライフ 地域
アーカイブ

自動車安全運転シンポジウム「健康起因の交通事故の実態とその防止」…11月2日 一橋大学

レスポンス 10月19日(月)11時45分配信

15 0



自動車安全運転センターは、同センター40周年記念行事として「自動車安全運転シンポジウム2015」を11月2日、一橋大学 一橋講堂で開催する。

[関連写真]

自動車安全運転センターは、「自動車安全運転センター法」に基づいて設立された警察庁所管の特別民間法人。安全運転研修の実施、累積点数の通知、運転経歴の証明、交通事故の証明、安全運転の調査研究などの事業や、「無事故・無違反証明書」および安全運転者を証明する「SDカード」の発行などを行っている。

今回、自動車安全運転センターの40周年を記念して、「健康起因の交通事故の実態とその防止」をテーマにした「自動車安全運転シンポジウム2015」を開催。国内の有識者が集まり、体調変化による事故予防や公共交通の操縦者の健康起因事故予防、睡眠時無呼吸症候群対策の重要性、視野狭窄患者と交通事故などを発信していく。

講演者は滋賀医科大学社会医学講座法医学部門 一杉正仁教授、JR東日本健康推進センター 医学適正科 笠原悦夫部長、順天堂大学大学院 医学研究科 谷川武教授、東北大学病院眼科 国松志保講師の4名。

このほか、モータージャーナリストでノンフィクション作家の岩貞るみこ氏をコーディネーターとして、講演者4名によるパネルディスカッションを行う。

参加費は無料。一般参加も可能で、事前申し込み制となる。

《レスポンス 瀬織敏也@DAYS》

ネットリサーチなら
クロス・マーケティング
にお任せあれ!



詳しくはこちら

アクセスランキング (経済総合)

- 1 「エヴァ新幹線」発進! 車内で使徒と対決 チャイムはあの主題歌 JR西日本 乗りものニュース 10月19日(月)16時34分
- 2 中国経済、一般に言われているより悪い=渡辺 J B I C 総裁 ロイター 10月16日(金)16時38分
- 3 マツダの新型ロータリーエンジン「16X」、SKYACTIV技術で復活 秒読みか オートックファン 10月16日(金)11時46分
- 4 <企業悲鳴> スマホ普及でPC使えない若者が増加 毎日新聞 10月17日(土)12時30分
- 5 ミニ四駆「エアロ アバンテ」が本物のクルマに 最高速度は180km/h! 乗りものニュース 10月18日(日)15時41分

PR -15kg続出のパーソナルジム | 週2回の個室トレーニングで、貴方の体が劇的に変化! 全国34店舗 パーソナルジム 24-7workout.net

Ads by Yahoo! JAPAN

TPP薄氷合意 日米中の思惑

異例の延長を重ねTPP交渉の関係会合は大筋合意に達した。参加国の日米、TPPへの警戒感がにじむ中国、それぞれの思惑は。

- TPP合意 次の手は 日本・米中・中国

掲載日	10月19日	媒体名	carview
URL	http://carview.yahoo.co.jp/news/market/20151019-10232126-carview/		

carview! 日本最大級のクルマ総合情報サイト、カービュー! ログイン [新規取得] YAHOO! JAPAN
 現在のクチコミ 18,392,105 件 中古車物件数 343,042 件

トップ 中古車 カタログ 買取 ニュース 編集記事 バイク ユーザーレビュー・記事を探す

総合 | ニューモデル | 業界ニュース | カー用品 | スポーツ | モーターショー | イベント | ランキング

carview! > ニュース > 業界ニュース > 自動車安全運転シンポジウム「健康起因の交通事故の実態とその防止」…11月2日 一橋大学

業界ニュース 2015.10.19

自動車安全運転シンポジウム「健康起因の交通事故の実態とその防止」…11月2日 一橋大学

ツイート 6 いいね! シェア 0 計つぶやく 7 < 前の記事 次の記事 >

[マネックス証券/公式サイト](#)

www.monex.co.jp
口座開設&取引で現金31000円をプレゼント/口座開設ならマネックス証券

[海外旅行、出張ならシティバンク](#)

www.citibank.co.jp
円預金を現地通貨で引出せて便利世界200以上の国と地域のATMで

Ads by Yahoo! JAPAN

自動車安全運転センターは、同センター40周年記念行事として「自動車安全運転シンポジウム2015」を11月2日、一橋大学 一橋講堂で開催する。

自動車安全運転センターは、「自動車安全運転センター法」に基づいて設立された警察庁所管の特別民間法人。安全運転研修の実施、累積点数の通知、運転経歴の証明、交通事故の証明、安全運転の調査研究などの事業や、「無事故・無違反証明書」および安全運転者を証明する「SDカード」の発行などを行っている。

今回、自動車安全運転センターの40周年を記念して、「健康起因の交通事故の実態とその防止」をテーマにした「自動車安全運転シンポジウム2015」を開催。国内の有識者が集まり、体調変化による事故予防や公共交通の操縦者の健康起因事故予防、睡眠時無呼吸症候群対策の重要性、視野狭窄患者と交通事故などを発信していく。

講演者は滋賀医科大学社会医学講座法医学部門 一杉正仁教授、JR東日本健康推進センター 医学適正科 笠原悦夫部長、順天堂大学大学院 医学研究科 谷川武教授、東北大学病院眼科 国松志保講師の4名。

このほか、モータージャーナリストでノンフィクション作家の岩貞るみこ氏をコーディネーターとして、講演者4名によるパネルディスカッションを行う。

参加費は無料。一般参加も可能で、事前申し込み制となる。

自動車安全運転センター創立40周年記念行事
 自動車安全運転シンポジウム2015
 健康起因の交通事故の実態とその防止

11月2日(土) 11:00～17:00
 会場：一橋大学 一橋講堂

講演者：一杉正仁教授、笠原悦夫部長、谷川武教授、国松志保講師

写真を拡大

自動車安全運転センター

写真を拡大

NISSAN LAFESTA Highway STAR
 Innovation that excites

走る喜びと優れた燃費性能を両立。
 日産ラフェスタ ハイウェイスター
[詳しくはこちら](#)

carview! The 44th TOKYO MOTOR SHOW 2015

ニュースアクセスランキング > もっと見る

- No Image バトカーから逃れようとしたクルマ、横断の歩行者をひき逃げ
- ベントレー新SUV ベンティガを都内でスクープ
- 本物ボディで現れたマセラティ初SUV「レバンテ」
- アウディ最小SUV、「Q2」の名称でデビュー!?
- マツダロードスター 新型、トヨタ86と比較テスト【動画】

あ、保険は大丈夫かな?

1日分の自動車保険 1DAY保険

～友達のを運転するときは～
 1日500円から入れる自動車保険

立ちどまらない保険。三井住友海上 お客さま情報 登録キャンペーン実施中!!

マイカー売値診断

あなたの愛車は今いくら? «無料» 4.5秒簡単入力ですぐ査定開始!

フィールダー×クリエイター対談 若者に送る「FIELDER」新しいカロラーの誕生

(レスポンス 嶺磯敏也@DAYS)

Response.

今年の冬こそ注目タイヤ MICHELIN 氷上TEST 第1弾公開!

掲載日	10月19日	媒体名	smartomaizu
URL	http://smartomaizu.com/news/news-79861.html		



[トップ](#) > [ニュース:スマートマイズ](#) > [自動車](#) > 自動車安全運転シンポジウム「健康起因の交通事故の実態とその防止」…11月2日 一橋大学

自動車安全運転シンポジウム「健康起因の交通事故の実態とその防止」…11月2日 一橋大学

2015年10月19日-11時45分00秒



レスポンス

[自動車安全運転シンポジウム「健康起因の交通事故の実態とその防止」…11月2日 一橋大学](#)

レスポンス

自動車安全運転センターは、「自動車安全運転センター法」に基づいて設立された警察庁所管の特別民間法人。安全運転研修の実施、累積点数の通知、運転経歴の証明、交通事故の証明、安全運転の調査研究などの事業や、「無事故・無違反証明書」および安全運転者を証明…

[自動車安全運転シンポ](#) テーマは「健康起因の交通事故」スポーツニッポン



このページのQRコード



[メールを送る](#)

[前に戻る](#)

掲載日	10月19日	媒体名	GetOn
URL	http://geton.goo.to/?ckid=60381		

The screenshot shows a promotional page for the '2015 Japan Safe Driving Center 40th Anniversary Event'. The main title is '自動車安全運転センター創立 40周年記念行事' (Japan Safe Driving Center 40th Anniversary Event). Below it, the event is titled '自動車安全運転シンポジウム 2015' (Automobile Safety Driving Symposium 2015) with the subtitle '健康起因の交通事故の実態とその防止' (Actual Status and Prevention of Traffic Accidents Caused by Health). The event date is '2015 11/2 (月) 13:30 ~ 17:10 (受付開始 12:30 ~)'. The venue is '会場：一橋大学 一橋講堂 (東京都千代田区一ツ橋2-1-2 宇南総合センター内)'. The program includes a keynote speech by Professor Shigenori Yoshida, a general lecture by Professor Kenji Aizawa, and a panel discussion moderated by Yumiko Iwano. The event is organized by the Japan Safe Driving Center.

自動車安全運転センターは、同センター40周年記念行事として「自動車安全運転シンポジウム2015」を11月2日、一橋大学 一橋講堂で開催する。

自動車安全運転センターは、同センター40周年記念行事として「自動車安全運転シンポジウム2015」を11月2日、一橋大学 一橋講堂で開催する。

©2015-10-19 View31 Response
[f LWSG1](#) [2](#) [tweet](#) [17](#)

← Prev 印刷 Next →

The screenshot shows the Japan Safe Driving Center website. The main navigation menu includes '安全運転研修のご案内', '各種証明書のご案内', '運転記録証明書の活用効果', 'SDカードのご案内', 'SDカード使渡店検索', '通知票に関するQ&A', '調査研究のご案内', '調査研究ライブラリー', and '当センターのご案内'. The main content area features a 'トピックス' (Topics) section with a news article titled '2015/10/01平成27年11月2日(月)、創立40周年記念行事として「自動車安全運転シンポジウム2015」を開催します。シンポジウム概要をご覧ください。' (We will hold the 'Automobile Safety Driving Symposium 2015' on November 2, 2015, to commemorate the 40th anniversary of the center. Please see the symposium overview.) The article provides details about the event, including the date, time, and location, and offers a link to the symposium overview page: <http://anzenunten.net/form/entry.php>. The article also mentions that the symposium is a free event and that the center is looking for participants. The collection period for the symposium is from October 29th (Friday) to November 2nd (Monday). The collection period for the symposium is from October 29th (Friday) to November 2nd (Monday). The collection period for the symposium is from October 29th (Friday) to November 2nd (Monday). The collection period for the symposium is from October 29th (Friday) to November 2nd (Monday).

Photo(左面～右)

掲載日	10月19日	媒体名	スポーツニッポン
URL	http://www.sponichi.co.jp/society/news/2015/10/19/kiji/K20151019011348180.html		

ソニー損保の自動車保険は「走る分だけ」の保険料! だから合理的。 ※予想年間走行距離に応じて保険料を算出。

でも... 走り過ぎたり、走らなかったらどうなるの?

あなたの疑問にお答えします!

ソニー損保

答えをチェック!



- ▶ イベント ▶ 大阪 ▶ 採用案内 ▶ アルバイト募集
- ▶ 超刊!スポニチ ▶ オヤジのひりから調 ▶ ミス日本 ☆ 新製品

[野球](#) | [サッカー](#) | [格闘技](#) | [スポーツ](#) | [五輪](#) | **[社会](#)** | [芸能](#) | [ギャンブル](#) | [ショッピング](#) | [マネー](#) | [グラビア](#) | [パチ&スロ](#) | [クルマ](#)

[政治](#) | [占い](#) | [将棋](#) | [アニマルランド](#) | [旅](#) | [超刊!スポニチ](#) | [大学Info](#)

ホーム > 社会 > ニュース& ティリーフフォー寛(社会) > 2015年10月19日

[◀ 前のニュース](#) [次のニュース ▶](#)

PR: ヤフオク0円宣言! 誰でも入札0円 安心サービスも充実

自動車安全運転シンポ テーマは「健康起因の交通事故」

安全運転研修などを行っている自動車安全運転センターは、11月2日に東京都千代田区の一橋大一橋講堂で同センター40周年記念行事として「自動車安全運転シンポジウム2015」(後援 警察庁)を開催する。

テーマは「健康起因の交通事故の実態とその防止」で、専門家を招き体調変化による事故予防や公共交通の操縦者の健康起因事故予防、睡眠時無呼吸症候群対策の重要性、視野狭窄患者と交通事故などを講演。モータージャーナリストでノンフィクション作家の岩貞るみこ氏をコーディネーターとして、パネルディスカッションを行う。

[自動車安全運転センター](#)

[2015年10月19日 08:01]

ツイート 20
 いいね! 0
 G+ 0

BIZREACH

海外在住者向け

海外勤務 求人特集

欧米・アジア圏など、現地求人多数。

GET STARTED

ニュースランキング(社会)

- 1.エヴァ新幹線、11月7日発進! JR西日本、展示コーナーも
- 2.大分の学校公認・仏教アイドル“信者”増加中! AKBから着想

掲載日	10月19日	媒体名	Jchere
URL	http://newschina.jchere.com/newsdetail-id-6999764.htm#.ViTmZH3CYZ-		

PR システム開発エンジニア（正社員）急募！一緒に日中間最大級のECサイトを開発しませんか？IIT技術者急募！

自動車安全運転シンポ テーマは「健康起因の交通事故」

交通事故 スポーツニッポン - 12時間前

テーマは「健康起因の交通事故の実態とその防止」で、専門家を招き体調変化による事故予防や公共交通の操縦者の健康起因事故予防、睡眠時無呼吸症候群対策の重要性、視野狭窄患者と交通事故などを講演。モータージャーナリストでノンフィクション作家の岩貞るみこ氏を ...[記事全文]



『中国輸入』速報

- ▶ LPG：10月13～16日：プロパンが下落もボタンは堅調推移 14時間前
- ▶ 中国に金融危機の兆し、下支えを失う原油市場 最大輸入国の需要減少で1バレル20ドルへ？ 20時間前
- ▶ サントリー、中国・青島ビールとの合弁を200億円で売却検討 日刊工業新聞
- ▶ 中国、アフリカからの象牙輸入を1年閉鎖止 2015/10/15 19:08:00
- ▶ 円が対ドルで一時的に高値、リスク回避で買い優勢-ユーロ上昇 プレムバーク
- ▶ 中国の2015年の原油輸入量は過去最高水準へ 米国の減産

掲載日	10月19日	媒体名	ニュース速報
URL	https://www.reddit.com/r/news_r/comments/3pabpp/%E8%87%AA%E5%8B%95%E8%BB%8A%E5%AE%89%E5%85%A8%E9%81%8B%E8%BB%A2%E3%82%B7%E3%83%B3%E3%83%9D%E3%83%86%E3%83%BC%E3%83%9E%E3%81%AF%E5%81%A5%E5%BA%B7%E8%B5%B7%E5%9B%A0%E3%81%AE%E4%BA%A4%E9%80%9A%E4%BA%8B%E6%95%85%E3%82%B9%E3%83%9D%E3%83%8B%E3%83%81nati/		



制作物

A4リーフレット・B2ポスター

自動車安全運転センター創立 40 周年記念行事

自動車安全運転シンポジウム 2015

健康起因の交通事故の実態とその防止

2015
11/2(月)
13:30～17:10
(受付開始 12:30～)

入場無料
※参加には事前の
お申し込みが必要
です。



SDワンダくん

会場：一橋大学 一橋講堂 (東京都千代田区一ツ橋2-1-2 学術総合センター内)

プログラム

13:30～16:25

自動車安全運転シンポジウム 2015 (後援：警察庁)
テーマ：健康起因の交通事故の実態とその防止

基調講演 体調変化による事故を予防するために
滋賀医科大学社会医学講座法医学部門 教授

一杉 正仁



一杉 正仁

一般講演 公共交通の安全と運転・探検者の健康起因事故予防 一鉄道医の医学適性検査の経験から—
JR 東日本健康推進センター 医学適性科部長

笠原 悦夫



笠原 悦夫

事故防止と疾病予防を目指した睡眠時無呼吸症候群 (SAS) 対策の重要性
順天堂大学大学院医学研究科 教授

谷川 武



谷川 武

視野狭窄患者と交通事故
東北大学病院 眼科 講師

国松 志保



国松 志保

パネルディスカッション

コーディネーター 岩貞るみこ (モータージャーナリスト/ノンフィクション作家)

パネリスト 一杉 正仁/笠原 悦夫/谷川 武/国松 志保



岩貞るみこ

16:25～17:10

記念式典

主催：自動車安全運転センター



安全運転をつくろう。
自動車安全運転センター
<http://www.jsdc.or.jp/>

お申し込み
お申し込み

自動車安全運転センター創立 40 周年記念行事事務局

TEL：03-5944-5444 (平日 10 時～17 時)

※定員になり次第、締めさせていただきますので、あらかじめご了承ください。

申し込み URL⇒ <http://anzenunten.net/form/entry.php>



パンフレット

記念式典 プログラム

16:25	開会	
	理事長あいさつ	石井 隆之 (自動車安全運転センター理事長)
16:40	来賓あいさつ	金澤 昭雄 (元自動車安全運転センター理事長)
16:45	ビデオメッセージ	今泉 正隆 (元自動車安全運転センター理事長)
16:55	感謝状贈呈	(受贈者) 公益社団法人全日本トラック協会 様 一般社団法人全日本指定自動車教習所協会連合会 様 一般社団法人日本損害保険協会 様
17:00	受贈者あいさつ	代表 公益社団法人全日本トラック協会 会長 星野 良三 様
17:10	閉会	



SDカードは安全運転者のしるし!!

- 「無事故・無違反証明書」「運転記録証明書」の申請者で、1年以上事故・違反等の記録がない方には、安全運転者であることを表すSDカードを差し上げております
- SDカードは無事故無違反の年数により色分けされています
- 各種割引等が受けられるSDカード優待店があります



自動車安全運転センター本部
〒102-0084 東京都千代田区二番町3番地 (麹町スクエア)
TEL 03-3264-8600 (代表) FAX 03-3264-8610

安全運転中央研修所 (附属交通公園)
〒312-0005 茨城県ひたちなか市新光明 605 番地 -16
TEL 029-265-9555 FAX 029-265-9565
付属交通公園 TEL 029-265-9550 FAX 029-265-9553

自動車安全運転センター創立40周年記念行事

自動車安全運転シンポジウム2015

健康起因の交通事故の実態とその防止

日時：平成27年11月2日(月) 13:30~17:10 (受付開始12:30~)

会場：一橋大学 一橋講堂 (東京都千代田区一ツ橋2-1-2 学術総合センター内)

主催/自動車安全運転センター
後援 (自動車安全運転シンポジウム2015) / 警察庁



SDワンダくん

安全運転をつくろう。



自動車安全運転センター

http://www.jsdc.or.jp/

ごあいさつ

「自動車安全運転センター創立40周年記念行事」の開催に当たり、一言御挨拶申し上げます。
本日は、御多用の中より創立40周年記念行事に御参加いただきまして心から感謝申し上げます。また、平素より当センターの活動に格別のご理解、御支援を賜り厚く御礼申し上げます。
当センターは、昭和50年の設立以来、安全運転研修業務、交通事故証明・運転記録証明書業務、原簿点検通知業務及び調査研究業務を通じて、交通事故の防止や運転者等に対する利便の増進を図ってまいりました。
本日の記念行事は、創立40周年の前日に当たり、これまでの歴史を振り返る記念行事として舉行するとともに、今後の交通安全対策に有益な情報を提供することにより、皆様の安全運転意識の向上に役立てていただくことを目的に開催することと致しております。
「自動車安全運転シンポジウム2015」におきましては、「健康起因の交通事故の実態とその防止」というテーマの下、有識者をお招きして医学的観点から御講演いただくことにより、パネルディスカッションでの議論を通じて、健康管理及び運転者の健康状態に起因する交通事故の防止の重要性について理解を深める内容となっております。
また、「記念式典」におきましては、当センターの業務と今後の取組について御報告させていただきます。
結びになりますが、創立40周年記念行事が皆様のお役に立つものと信じて幸いです。

自動車安全運転センター 理事長 石井 隆之

自動車安全運転シンポジウム2015 プログラム

13:30	開会あいさつ	石井 隆之 (自動車安全運転センター理事長)
13:35	基調講演 「体調変化による事故を予防するために」	一杉 正仁 (協賛医科大学社会医学講座法医学部門教授)
14:10	一般講演Ⅰ 「公共交通の安全と運転・操縦者の健康起因事故予防 — 一般講演の医学的検査の経験から —」	笠原 悦夫 (J日東日本健康推進センター医学部学術部長)
14:35	一般講演Ⅱ 「事故防止と疾病予防を目的とした睡眠時無呼吸症候群 (SAS) 対策の重要性」	谷川 武 (慶応義塾大学大学院医学研究科教授)
15:00	一般講演Ⅲ 「視野狭窄患者と交通事故」	岡松 志保 (東北大学・自治医科大学眼科講師)
15:45	パネルディスカッション コーディネーター 岩良 るみこ (モータージャーナリスト/ノンフィクション作家) パネリスト 一杉 正仁、笠原 悦夫、谷川 武、岡松 志保	
16:20	閉会	

基調講演 体調変化による事故を予防するために

【概要】
健康な生活習慣の維持は運転者の健康を促し、その多くで、健康の悪化が原因となり、交通事故の発生に繋がります。内臓系は自律神経系から支配されており、自律神経系が乱れることで、運転者の体調が安定しなくなり、事故のリスクが高まります。本講演では、自律神経系が乱れる原因と、それを防ぐための対策について、最新の研究成果を基に、具体的なアドバイスを行います。

【プロフィール】 一杉 正仁
2014年より東京医科大学社会医学講座法医学部門 教授
1984年 東京総合医科大学 法医学部 法医学専攻 法医学専攻 教授
2000年 東京総合医科大学 法医学部 法医学専攻 法医学専攻 教授
2002年 東京総合医科大学 法医学部 法医学専攻 法医学専攻 教授
2007 International Traffic Medicine Association Board member (東京法医学協会理事) / 日本法医学学会理事 / 日本法医学協会 法医学部 法医学専攻 教授 / 日本法医学協会 法医学部 法医学専攻 教授 / 日本法医学協会 法医学部 法医学専攻 教授



一般講演Ⅰ 公共交通の安全と運転・操縦者の健康起因事故予防— 一般講演の医学的検査の経験から —

【概要】
公共交通の安全と運転・操縦者の健康起因事故予防。本講演では、公共交通の安全と運転・操縦者の健康起因事故予防の観点から、最新の研究成果を基に、具体的なアドバイスを行います。

【プロフィール】 笠原 悦夫
2007年より日東日本健康推進センター 医学部学術部長
1988年 北海道大学医学部 教授
1997年 日東日本健康推進センター 医学部学術部長
1999年 日東日本健康推進センター 医学部学術部長
2007年 日東日本健康推進センター 医学部学術部長



一般講演Ⅱ 事故防止と疾病予防を目的とした睡眠時無呼吸症候群 (SAS) 対策の重要性

【概要】
睡眠時無呼吸症候群 (SAS) は、交通事故のリスクを高める要因の一つです。本講演では、SASの診断と治療の重要性について、最新の研究成果を基に、具体的なアドバイスを行います。

【プロフィール】 谷川 武
2014年より慶応義塾大学大学院医学研究科 教授
1986年 神戸大学医学部 教授
1990年 慶応義塾大学大学院医学研究科 教授
2004年 慶応義塾大学大学院医学研究科 教授
2006年 慶応義塾大学大学院医学研究科 教授
2008年 慶応義塾大学大学院医学研究科 教授
2010年 慶応義塾大学大学院医学研究科 教授



一般講演Ⅲ 視野狭窄患者と交通事故

【概要】
視野狭窄は、交通事故のリスクを高める要因の一つです。本講演では、視野狭窄の診断と治療の重要性について、最新の研究成果を基に、具体的なアドバイスを行います。

【プロフィール】 岡松 志保
2013年より東北大学 自治医科大学眼科 講師
1993年 千葉大学医学部 教授
1998年 東北大学医学部 教授
2005年 自治医科大学眼科 講師
2013年 自治医科大学眼科 講師



パネルディスカッション

コーディネーター 岩良 るみこ
コーディネーター 岩良 るみこ (モータージャーナリスト/ノンフィクション作家)
パネリスト 一杉 正仁、笠原 悦夫、谷川 武、岡松 志保

【プロフィール】 岩良 るみこ
2013年より、モータージャーナリストとして、自動車業界の最新動向をレポートしている。自動車業界の最新動向をレポートしている。自動車業界の最新動向をレポートしている。



「自動車安全運転シンポジウム2015」アンケート

本日は、「自動車安全運転シンポジウム2015」にご出席いただきありがとうございます。お手数ではございますが、皆様からのご意見を今後の活動の参考とさせていただきます。アンケートにご協力くださいますようお願い申し上げます。

- 1 今回のシンポジウムを何でお知りになりましたか。

<input type="checkbox"/> ご案内状	<input type="checkbox"/> チラシ・ポスター
<input type="checkbox"/> センターのホームページ	<input type="checkbox"/> Webニュース()
<input type="checkbox"/> 職場関係者・知人の紹介	<input type="checkbox"/> その他()

- 2 シンポジウムに出席された動機(理由)をお聞かせください。(複数回答可)

<input type="checkbox"/> 安全運転の管理、指導を行う立場である	<input type="checkbox"/> 安全運転に興味がある
<input type="checkbox"/> テーマに関心がある	<input type="checkbox"/> 出演者に関心がある
<input type="checkbox"/> その他()	

- 3 シンポジウムに参加してどのように感じましたか。

<input type="checkbox"/> 安全運転に対する意識が強くなった	<input type="checkbox"/> 安全運転に対する意識がやや強くなった
<input type="checkbox"/> 安全運転に対する意識は変わらない	

- 4 シンポジウムの内容は今後の安全運転の取り組みに役立つものでしたか。

<input type="checkbox"/> 大変役立つ	<input type="checkbox"/> 役立つ	<input type="checkbox"/> やや役立つ	<input type="checkbox"/> あまり役立つたない
<input type="checkbox"/> 役立つたない			

- 5 講演内容で興味をもったタイトルはどれでしたか。(複数回答可)

<input type="checkbox"/> 体調変化による事故を予防するために(一杉正仁)
<input type="checkbox"/> 公共交通の安全と運転・操縦者の健康起因事故予防(笠原悦夫)
<input type="checkbox"/> 事故防止と疾病予防を目指した睡眠時無呼吸症候群(SAS)対策の重要性(谷川武)
<input type="checkbox"/> 視野狭窄患者と交通事故(園松志保)

- 6 シンポジウムの内容で特に印象に残った内容をお聞かせください。

アンケート (表)

7 今後センターが安全運転への取り組みを推進していく上で、ご意見、ご要望、アイデア(次回企画してほしいテーマ、内容など)がありましたらお聞かせください。

ありがとうございました。お帰りの際、受付のスタッフにお渡しください。

差支えなければご記入下さい。

ご所属 _____	お名前 _____
-----------	-----------

アンケート (裏)

会場案内図



講堂内は許可を受けた方以外は撮影禁止です

会場内は禁煙です 喫煙ルームをご利用ください

携帯電話は電源をお切りになるかマナーモードに設定してください

緊急時(火災、地震発生時)は係員の指示に従って落ち着いて避難をしてください

「自動車安全運転シンポジウム2015」質問用紙

基調講演(1件)及び一般講演(3件)をお聞きになり、ご質問・ご意見がございましたら以下にご記入をお願いいたします。

なお本質問用紙は休憩時間中に回収させていただき、集計の上、内容によっては休憩後実施いたしますパネルディスカッションの際に参考とさせていただく場合もございます。

○ 基調講演 滋賀医科大学社会医学講座法医学部門 教授 一杉 正仁 氏

テーマ 「体調変化による事故を予防するために」

(ご質問・ご意見)

○ 一般講演Ⅰ JR東日本健康推進センター医学適性科部長 笠原 悦夫 氏

テーマ 「公共交通の安全と運転・操縦者の健康起因事故防止」

(ご質問・ご意見)

○ 一般講演Ⅱ 順天堂大学大学院医学研究科 教授 谷川 武 氏

テーマ 「事故防止と疾病予防を目指した睡眠時無呼吸症候群(SAS)対策の重要性」
(ご質問・ご意見)

○ 一般講演Ⅲ 東北大学・自治医科大学 眼科 講師 国松 志保 氏

テーマ 「視野狭窄症患者と交通事故」

(ご質問・ご意見)

ありがとうございました。ご記入が完了しましたらお近くのスタッフ、又は、受付のスタッフにお渡しください。

質問用紙 (表)

質問用紙 (裏)

案内状 A (レセプション参加)

ご案内

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます
 平素は格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます
 さて 私ども自動車安全運転センターもお蔭様をもちましてこのほど
 40周年を迎えるにいたりました
 これもひとえに皆様様の絶大なご支援の賜物と深謝申し上げます
 つきましては左記のとおり創立40周年の記念行事といたしまして
 「自動車安全運転シンポジウム2015」及び「記念式典」を
 催したく存じますのでご多忙中誠に恐縮ながら
 ご来臨の栄を賜りたく謹んでご案内申し上げます
 平成二十七年九月吉日

敬具

自動車安全運転センター

理事長

石井 隆之

記

- 一、日 時 平成二十七年十一月二日(月曜日)
- 受付 十二時三十分より
 - シンポジウム 十三時三十分より
 - 記念式典 十六時二十五分より
 - レセプション 十七時三十分より

一、場 所 東京都千代田区一ツ橋二ー二 学術センター内
 一橋大学 一橋講堂

※ご出欠につきましてお手数でございますが 同封の葉書にて十月十五日(未曜日)
 までにお知らせ下さい

(お問い合わせ先)

自動車安全運転センター 創立40周年記念行事事務局
 電話 03・5944・5444

案内状 B (レセプション不参加)

ご案内

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます
 平素は格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます
 さて 私ども自動車安全運転センターもお蔭様をもちましてこのほど
 40周年を迎えるにいたりました
 これもひとえに皆様様の絶大なご支援の賜物と深謝申し上げます
 つきましては左記のとおり創立40周年の記念行事といたしまして
 「自動車安全運転シンポジウム2015」及び「記念式典」を
 催したく存じますのでご多忙中誠に恐縮ながら
 ご来臨の栄を賜りたく謹んでご案内申し上げます
 平成二十七年九月吉日

敬具

自動車安全運転センター

理事長

石井 隆之

記

- 一、日 時 平成二十七年十一月二日(月曜日)
- 受付 十二時三十分より
 - シンポジウム 十三時三十分より
 - 記念式典 十六時二十五分より

一、場 所 東京都千代田区一ツ橋二ー二 学術センター内
 一橋大学 一橋講堂

※ご出欠につきましてお手数でございますが 同封の葉書にて十月十五日(未曜日)
 までにお知らせ下さい

(お問い合わせ先)

自動車安全運転センター 創立40周年記念行事事務局
 電話 03・5944・5444

封筒裏書

〒178-0001 東京都豊島区北大塚一―二十一―七末広ビル三階
 株式会社セレスポ
 自動車安全運転センター創立40周年記念行事事務局

本券をお持ちの上 受付（青）で
 受付をお済ませください

本券をお持ちの上 受付（黄）で
 受付をお済ませください

本券をお持ちの上 受付（赤）で
 受付をお済ませください

本券をお持ちの上 受付（白）で
 受付をお済ませください

短冊
カードサイズ

一橋大学一橋講堂への経路



【一橋大学一橋講堂】
 〒101-8439 東京都千代田区一ツ橋 2-1-2 学術総合センター内
 東京メトロ半蔵門線、都営三田線、都営新宿線 神保町駅（A8・A9 出口）徒歩4分
 ※A8 出口は、近隣ビルの工事のため平成 25 年 10 月 5 日から閉鎖しております。
 お越しの際は A9 出口をご利用ください。
 東京メトロ東西線 竹橋駅（1b 出口）徒歩4分

1 7 0 0 0 0 4

東京都豊島区北大塚一―二十一七
末広ビル三階

株式会社セレスポ
自動車安全運転センター
創立40周年記念行事事務局
担当者 行

自動車安全運転シンポジウム2015

ご出席 欠席

記念式典

ご出席 欠席

レセプション

ご出席 欠席

貴社名

ご芳名

ご連絡先

葉書状 A レセプション参加

1 7 0 0 0 0 4

東京都豊島区北大塚一―二十一七
末広ビル三階

株式会社セレスポ
自動車安全運転センター
創立40周年記念行事事務局
担当者 行

自動車安全運転シンポジウム2015

ご出席 欠席

記念式典

ご出席 欠席

貴社名

ご芳名

ご連絡先

葉書状 B レセプション不参加

角2封筒



講演資料

自動車安全運転センター創立40周年記念行事
自動車安全運転シンポジウム2015
健康起因の交通事故の実態とその防止

講演資料

【目次】

- 「林業実地による事故を予防するために」
法政大学社会学部健康法医学部門 教授 一杉 正仁
- 「公共交通の安全と運転・乗客者の健康起因事故予防」
→健康起因の交通事故の実態とその防止
の章口本健康推進センター 健康推進部長 菅原 俊夫
- 「事故防止と医療予防を目的とした運転時部呼称後部(SAS)対策の重要性」
法政大学社会学部健康法医学部 教授 谷川 俊
- 「視覚障害者と交通事故」
東土大学教員 専科 講師 藤松 志保

※敬称略

安全運転をつくろう。
自動車安全運転センター

前垂れ

一杉 正仁 滋賀医科大学 社会医学講座法医学部門教授	笠原 悦夫 J R 東日本健康推進センター 医学適性科部長	谷川 武 順天堂大学大学院医学研究科教授	国松 志保 東北大学病院 眼科 講師	岩貞 るみこ モータージャーナリスト ノンフィクション作家
---	--	--------------------------------	------------------------------	--

受付/案内サイン

【前垂れ 300*750】

【受付サイン 297*210 2段】

受付 受付票を お持ちでない方 報道関係者	受付 受付票（赤）を ご提示ください <small>本席をお持ちの上、受付（赤）で 受付をお済ませください。</small>	受付 受付票（白）を ご提示ください <small>本席をお持ちの上、受付（白）で 受付をお済ませください。</small>	受付 受付票（黄）を ご提示ください <small>本席をお持ちの上、受付（黄）で 受付をお済ませください。</small>	受付 受付票（青）を ご提示ください <small>本席をお持ちの上、受付（青）で 受付をお済ませください。</small>	受付  お手持の受付票 の色の受付へ お進みください
---------------------------------------	---	---	---	---	--

自動車安全運転
シンポジウム
2015 会場
←


許可を受けた方以外の
撮影 録音禁止

講師・関係者
控室

レセプション
会場
←
ご入場には事前の
お申し込みが必要です


携帯電話の使用禁止
電源オフ マナーモード
に切替えてください

自動車安全運転
シンポジウム
事務局

クローク


講堂内飲食禁止

【諸室サイン 210*297】

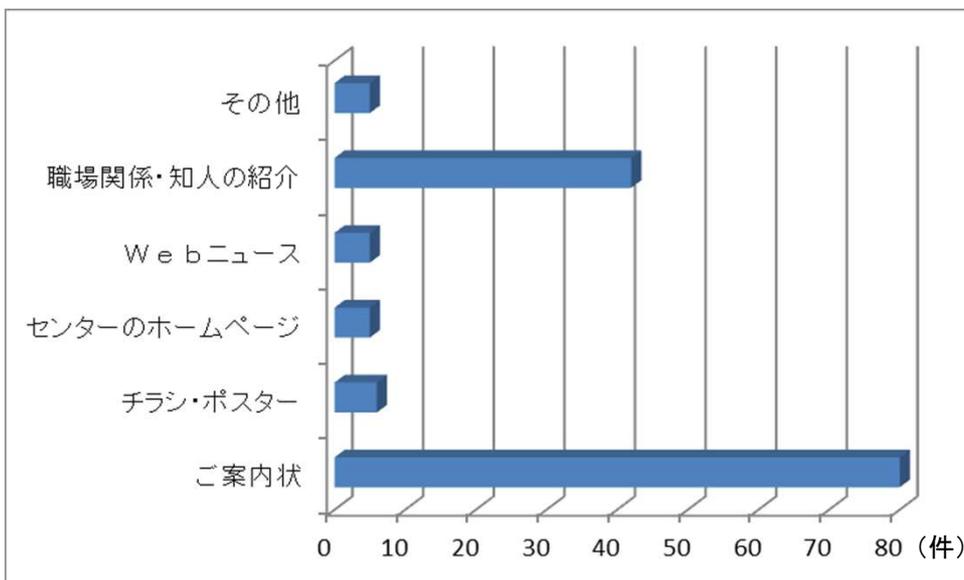
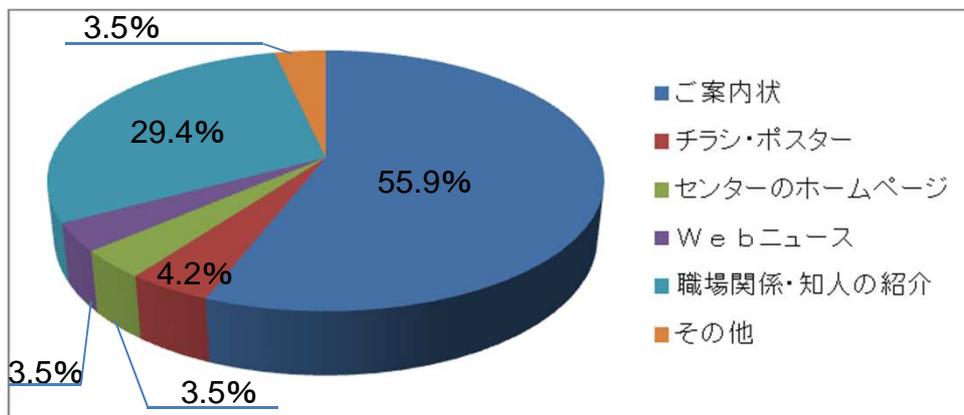
【誘導サイン 297*210】

【注意サイン 297*210】

アンケート結果

質問1 今回のシンポジウムを何でお知りになりましたか。

	件数	%
ご案内状	80	55.9%
チラシ・ポスター	6	4.2%
センターのホームページ	5	3.5%
Webニュース	5	3.5%
職場関係・知人の紹介	42	29.4%
その他	5	3.5%
合計	143	100.0%

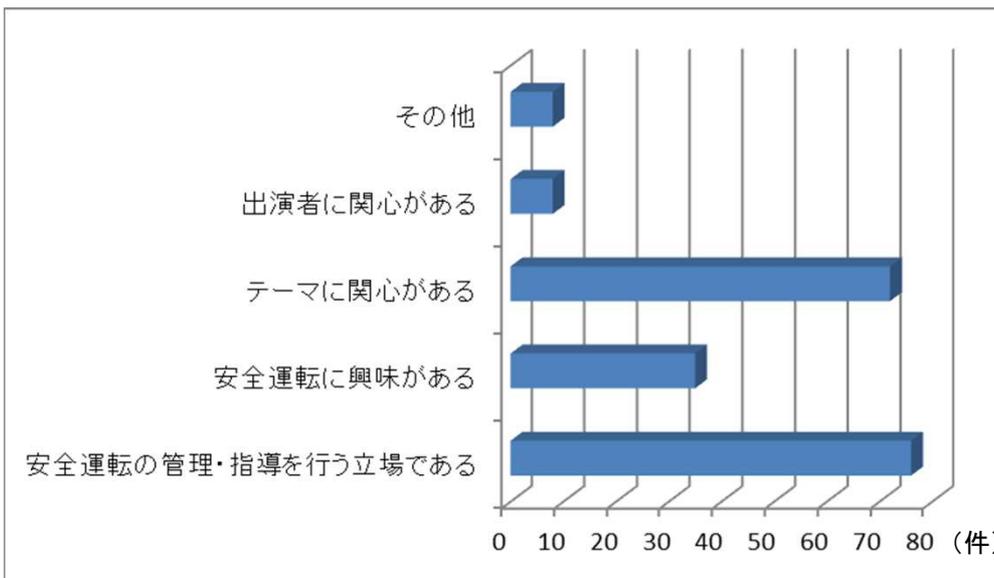
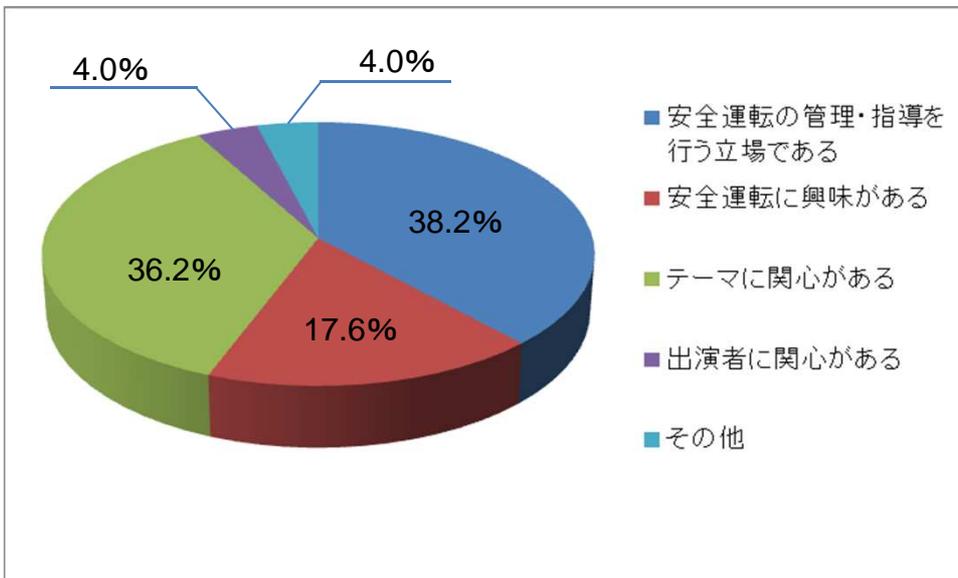


その他の内容

- ・センター職員
- ・センター栃木事務所からの通知
- ・職場での情報展開
- ・センターからの通知

質問2 シンポジウムに出席された動機（理由）をお聞かせください。【複数回答可】

	件数	%
安全運転の管理・指導を行う立場である	76	38.2%
安全運転に興味がある	35	17.6%
テーマに関心がある	72	36.2%
出演者に関心がある	8	4.0%
その他	8	4.0%
合計	199	100.0%

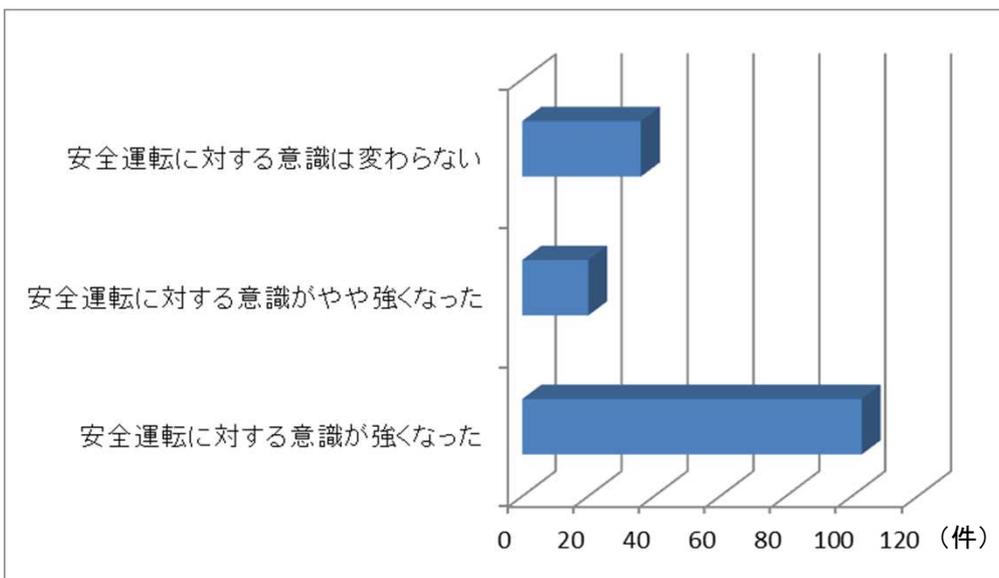
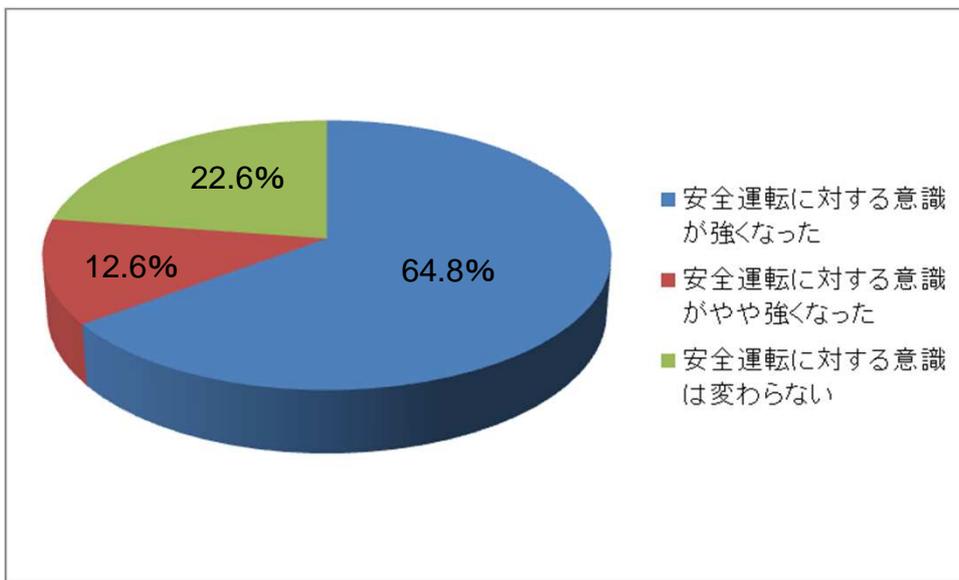


その他の内容

・業務/職務

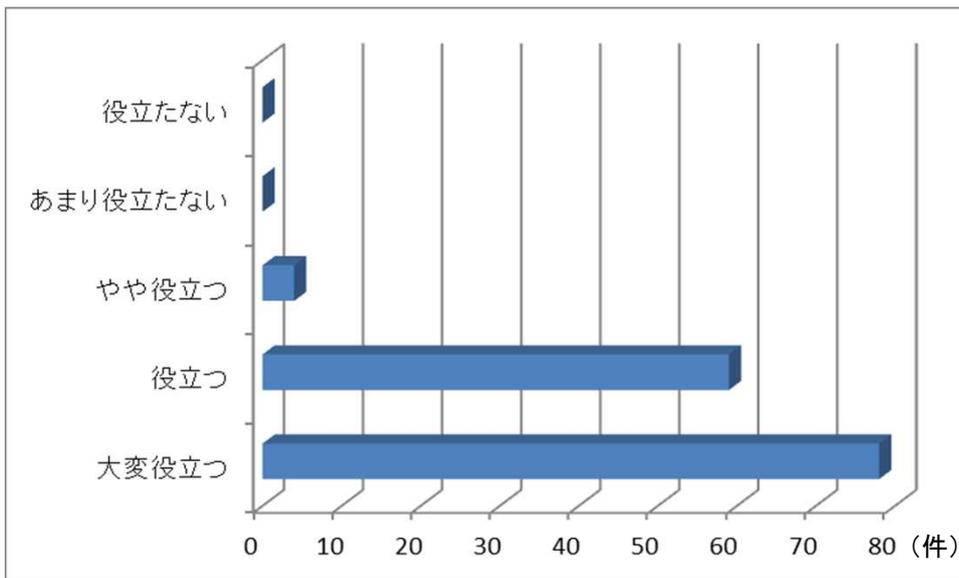
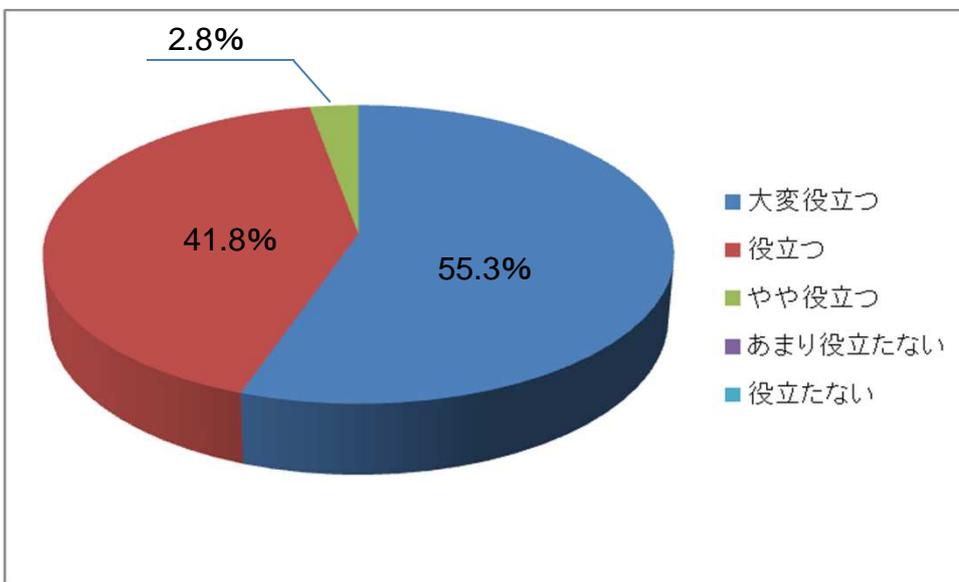
質問3 シンポジウムに参加してどのように感じましたか。

	件数	%
安全運転に対する意識が強くなった	103	64.8%
安全運転に対する意識がやや強くなった	20	12.6%
安全運転に対する意識は変わらない	36	22.6%
合計	159	100.0%



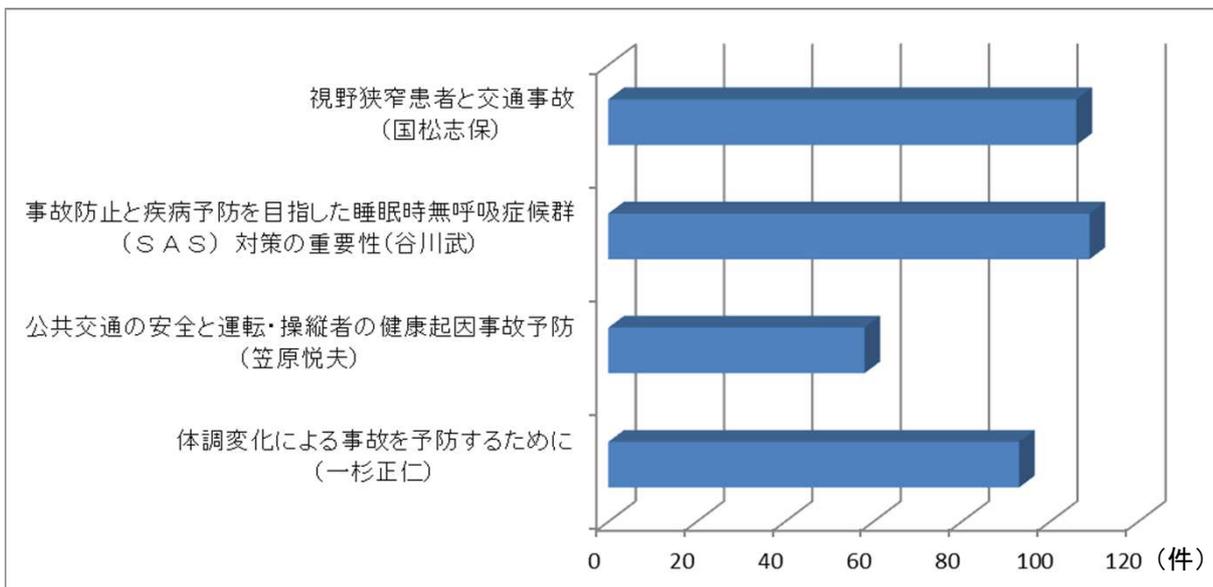
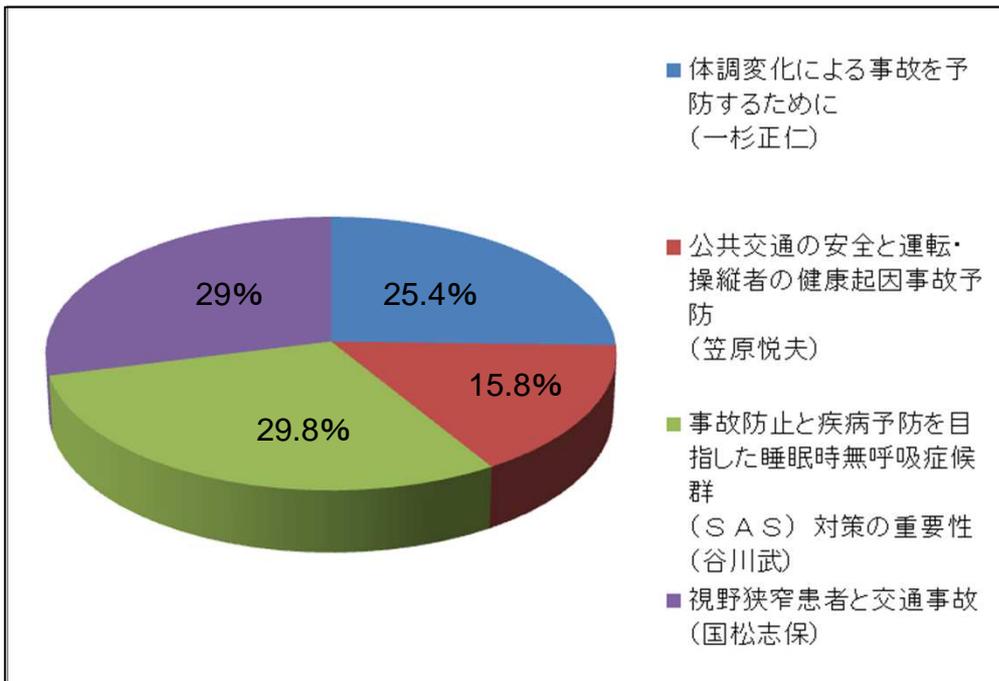
質問4 シンポジウムの内容は今後の安全運転の取り組みに役立つものでしたか。

	件数	%
大変役立つ	78	55.3%
役立つ	59	41.8%
やや役立つ	4	2.8%
あまり役立たない	0	0.0%
役立たない	0	0.0%
合計	141	100.0%



質問5 講演内容で興味をもったタイトルはどれでしたか。(複数回答可)

	件数	%
体調変化による事故を予防するために (一杉正仁)	93	25.4%
公共交通の安全と運転・操縦者の健康起因事故予防 (笠原悦夫)	58	15.8%
事故防止と疾病予防を目指した睡眠時無呼吸症候群 (SAS)対策の重要性(谷川武)	109	29.8%
視野狭窄患者と交通事故 (国松志保)	106	29.0%
合計	366	100.0%



質問6 シンポジウムの内容で特に印象に残った内容をお聞かせください

- 1、病気でもすぐに運転を中止するのではなく、何に気を付ければ良いのかを探る
できるだけ運転を続けられるようにする。研究が進められていることが分かった。
- 2、SAS対策の重要性について再認識した。太っているからという理由だけでない
ことがよく理解できた。
- 3、睡眠時無呼吸症候群対策について、視野狭窄患者と交通事故について。
- 4、身近にSASの症状がある人が居るので、改めて検査をすすめたいと思った。
ハンドルを握りながら、健康ではない人の方が多いこと、外見的には
不健康であることがわからないことへの危険性を強く感じました。
- 5、いろいろな病気のもとに無呼吸がなっている。無呼吸が治ると病気にならない、
事故防止。視力には影響出ていないが視野が見えないのが危ない。
- 6、自分は、メタボで高血圧症なので、SAS対策の重要性(谷川武教授)を
痛感した。
- 7、視野狭窄患者についての内容
- 8、日中の眠気のないSAS罹患者の恐さ、その数の多さに驚いたと同時に、企業
として真剣に取り組む必要性を感じた。
- 9、SASに対する社会的認知度が低い、自覚症状もないという現状、
早期発見と、早期受診、何より自覚させることが重要、改めて健康起因による、
交通事故防止に対して、色々な角度より対策されていることにとても参考になった。
- 10、検診、予防の重要性
- 11、講演1, 2, 3
- 12、SASの恐怖
- 13、視野狭窄
- 14、視野狭窄患者の実際の見え方
- 15、・パルスウェッチでは見抜けないうSASがある。
・一般講演Ⅱのパワポ資料を入手したい。
- 16、健康と安全が中心にあり、今回はその同様意見があった様ですか？
- 17、全体的にはこのテーマは事故防止にきわめて役に立つもので、今後もぜひ
推進してほしいと思う。
- 18、視野狭窄は、本人が異常を感じないのか？
- 19、全般として、高齢者事故の増加が懸念されている現在、各方面からの研究
が行われていることが分かった。
- 20、無自覚で事故発生の可能性の高さに驚きを持った。
- 21、睡眠がダイエットにつながるのには驚きでした。
- 22、SASについては、想定以上に恐るべき病気である。早期発見をすることと、
SASという病気、認知が必要と実感した。
- 23、体調の悪い時でも無理して運転を継続していたこともあり、今回の講義を
拝聴し、勉強になった。以後気を付けます。
- 24、④の「視野狭窄患者と交通事故」の講義。はじめて知ったことだった。

-
- 25、健康起因の事故、対策を迅速に進めていることを十分に理解した。
SAS危険を改めて認識した。
-
- 26、視力を掌る所と視野を掌る場所が異なる、視力が良くても視野が狭くなる。
-
- 27、難しい内容についても、非常にわかりやすく講演いただき、理解しやすかった。
-
- 28、視野狭窄患者のドライビングシュミレータ実験
-
- 29、SAS対策。 視野狭窄患者の交通事故。
-
- 30、SAS対策と、疾病について
-
- 31、視野の話は興味があった。今度は脳疾患での話が聞きたい。
-
- 32、視野が運転能力に大きく影響することが印象に残った。
-
- 33、社会（一般人）の意識の変化が大切。
-
- 34、高齢乗務員が多く、「認知症」「SAS」「視野狭窄」を原因と疑うトラブルが発生しており、事故防止に役立てばと参加した。谷川先生、国松先生の講義でそれぞれの病理はよくわかった。
-
- 35、交通事故の約1割が健康起因であるということ、SAS、緑内障、いずれも無自覚な場合が多いということ。
-
- 36、事故の原因の1割を体調変化が占めること。緑内障で視野が狭くなり危険であること。無呼吸症候群は全く前兆がなく、危険であること。
-
- 37、視野狭窄について。
-
- 38、SASは病気の一つと思っていたが、SASがその他の重大な病気を引き起こす引き起こす重要な一因だということが分かったのが大きな成果。他の大きな病気を予防し、重大事故を防ぐためにもSASを発見することが大事であると感じた。
-
- 39、SASによる事故、対策の必要性。
-
- 40、SAS対策の重要性。
-
- 41、・SPAP体調良くなる→食事が進む→原料が難しくなること。
・視野狭窄の症状は自覚が難しく、運転を辞める判断が難しい。
-
- 42、加齢に伴う事故の態様。
-
- 43、大変有意義なので、数年に一回開催していただければ。
-
- 44、視野狭窄を原因とする事故では原因解明しづらく、運転手の確認不足にとどまる恐れがある。
-
- 45、視野狭窄と運転に関する話が参考になった。
-
- 46、統計値による分析と考察。
-
- 47、自覚のない健康上の危険因子がこれほど多くあることは認識しておらず驚いた。たいへん参考になった。
-
- 48、自覚のない人は医者に行かない、自覚がないから事故を起こすまで気付かない。そしておそらく起こすときは大事故になる。
-
- 49、事故原因を調査する場合、健康状態の確認の重要性を強く感じた。
-
- 50、「健康起因の事故発生は10分の1の割合である。」その統計データについて、自己や職員の健康のみならず、対向者（車）の運転能力に気を付けなければならぬと思った。
-

- 51、先生方のそれぞれの提言に共感できた。
- 52、SASに関する内容はとても参考になった。
- 53、・体調変化による事故予防について（糖尿病が事故原因となり得る）
・交通事故に繋がる病気について、本人が自覚しておらず事故になる。
・星を見て視力を測ったとの定義。
- 54、健康起因事故、業務開始から体調変化を感じて運転者が車両を停めるまでの時間がバスの運転車が短く、そのことで事故回避割合も比較的良好なこと。
- 55、WHOのセーフコミュニティ認証についてもエビデンスに基づくQOLをめざして、本研究は重要と思われる。
- 56、「体調変化」という言葉にこれだけ様々な症状が含まれ、各々に運転行動に（危険な）影響を及ぼしているという現状に正直ショックを受けました。
- 57、・緑内障患者の視野欠損状況に驚いた。
・安全管理とは関係ないと思うが、鉄道事業者の運転士の年齢構成の棒グラフを見て非常に驚いた。平成22年の44歳が異常に少なく、（ピークが50歳）、操縦士が東南アジアだけで9千人が不足する「操縦士の30年問題」と同様な問題があると感じた。
- 58、このシンポジウムは毎回出席させていただいている。高齢運転者なので。
- 59、いずれも興味深いテーマで、印象に残った。
- 60、SASへの対策、緑内障のリスクについて、大変参考になった。
- 61、緑内障で自覚症状が少ないことに驚いた。
- 62、脳疾患、心疾患での原因が半数→逆に言うとこれら重傷な病状は半数しかなく、半数は普通の下痢やめまいなどの病気→だからこそより日常の健康管理が重要である。人は病気になるもの、という前提でものを考える。
- 63、SAS、緑内障の、症状を持つ運転者とその危険性の理解ができた。
- 64、自覚症状がない運転者にいかに早期に自覚させるかが大変大きな問題である。
- 65、SASにしろ、緑内障にしろ、自覚症状がない疾病対策、交通安全対策の必要性。
- 66、全てのテーマについて興味深いものですが、一杉先生のテーマは今後の自動車交通社会の中で大変重要な点であると認識している。
- 67、緑内障起因の視野狭窄。
- 68、緑内障、申告がなければ発見が難しい。
- 69、業務の上で、多数の車両が毎日運転されている状況にあり、日頃から交通事故防止を言い続けているところ。4講演ともその際健康管理が重要であること、症状を理解した上での対応の必要性を理解できたので良かった。
- 70、SASと視野狭窄。タクシー業界高齢化でもっとも認識していなくてはならないことだと思う。

- 71、・谷川先生のSAS患者はSASである自覚症状がないという部分。
・国松先生の緑内障患者は緑内障である自覚症状がないという部分。
・SASのチェックを義務化することが望ましいが、義務化した場合、SASの者がSASチェックを受けると、解雇される恐れがあるため、家族などの別人に受けさせるなど、結果を偽る可能性が考えられる。その対処について、踏み込んでほしかった。
- 72、平素からの健康管理の重要性を痛感させられた。事業者の取り組みが重要となる。
- 73、無呼吸症候群(SAS)と緑内障の話は参考になった。
- 74、自動車運転における緑内障の恐さ。事故予防のための体調管理の重要性。
- 75、SAS対策の必要性。視野狭窄と交通事故。
- 76、パネルディスカッション
- 77、視野確保の重要性と高齢化するドライバーをどのように管理するのかという事。
- 78、鉄道モードの安全に対する試行錯誤のあり方。
SASはSASだけの問題でなく、糖尿病や高血圧も引き起こすこと。
- 79、緑内障、視野狭窄など検査の義務付けが大事と痛感した。知らないうち、気づかない状況で事故を起こしてしまう事例が多いことは不幸なので、会社側が強制的に検査することが大事だと思う。
- 80、健康起因事故に関する具体的なエビデンス(増加傾向と自己管理の必然性)。SASの危険性。
- 81、・SASのスクリーニングの必然性と、免許取得および更新時における視野検診の必要性について。
・体調変化は病気によっては全く無自覚の場合もあるので、検診及び周囲の者の注意やアドバイス等が不可欠であること。
- 82、一杉先生の体調不良時の運転対応。谷川先生のSAS対策の重要性。
- 83、年齢に関係なく起きること。
- 84、病気が安全運転にこれほど影響を与えているとは思っていなかった。
- 85、鉄道運転者の高齢化、視力基準の見直し、糖尿病を患っている人の方が15歳以下の人口よりも多いこと。無呼吸と糖尿病の関係。
- 86、交通事故予防のためにすべきことを考えさせられ、どの講演もとても勉強になった。
- 87、高齢化に関する課題。高血圧が事故につながるリスクということ。
無意識に進行する病気による事故への社会としての対応。
- 88、実効のある対策実践で、関係部分の低減(新たな)が実現できる。
- 89、SAS,緑内障。

質問7 今後センターが安全運転への取り組みを推進していく上で、ご意見、ご要望、アイデア（次回企画してほしいテーマ、内容など）がありましたらお聞かせください。

- 1、若年層の運転技術の低下、自動車離れ、無関心など。
- 2、シンポジウム内容の継続的な発信、情報開示が重要と考えます。
- 3、病気による運転の危険について
- 4、メンタル以上が起因する事故と防止、認知、判断への影響など、心理面での事故原因にどのようなものが考えられるかの対策、指導法など
- 5、今回の講演内容をもとに、いかに重症な運転者に対し、運転禁止とするような措置、法改正等してほしい。
・SASだから無罪では、被害者、その家族は泣き寝入りである。予防措置が必要である。
- 6、小生も、ライフワークとして「交通視環境」に長年取り組んできた。「LED道路情報板の視認性」「人間の視覚特性」「飲酒がドライバビリティへ及ぼす影響」「ケイタイが運転操作へ及ぼす影響」「その他」いろいろと研究データもある。次回にでも声を掛けて頂ければ、講演者の中の一人になれると存じます。
- 7、加齢と運転動作の関係等。（例：適性検査結果より事業用自動車運転の卒業時期
・大型免許取得年齢の低下についての国の考え方。
- 8、高齢者事故防止対策（各般で）
- 9、企画してほしいテーマ：高速道路における大型貨物車及び二輪車の単独事故防止。
- 10、運転記録証明書の発行が遅い。採用や教育機会を逃したくないのでWEBで対応する等の工夫がほしい。
- 11、トラックボディ側面にセンターやSDカードのPR車体広告はいかがでしょうか。
（既に全ト協では“Gマーク”の広告を実施しています）
- 12、自転車と自動車との衝突事故の発生要因や、自転車運用者の傷害の医学的見解について、など。
- 13、歩行者の心理、自転車の心理、運転者の心理によるそれぞれの立場から見る事故の防止対策、事故の特徴、傾向など。
- 14、本人の講演内容を、運行管理の実務につなげるには？
- 16、今後も新しい情報を提供していただきたい。
- 17、視野障害者に対する運送業（ドライバー）従事者への対応策。（どのレベルで運転業務から下ろす判断をするか）
- 18、認知症、認知機能に関する企画、テーマを期待しています。
- 19、認知症運転者への運転禁止のあり方。
- 20、大変勉強になった。定期的な開催を希望します。

-
- 21、運転補助者の役割と重要性について講演していただきたい。
-
- 22、40周年を機に、各地方ごとに今回のような催しの企画をお願いしたいと思った。
聴講させていただき、ありがとうございました。
-
- 23、ISO39001取得および取り組みについて。
-
- 24、自動運転自動車の実用化について(開発状況)
-
- 25、SDカードと自主返納サポートなどを合体させて、優遇措置を一本化する。
特に公共交通機関や自治体サポートシステムと連携させなければ高齢者の
自主返納は進まないと考える。
-
- 26、調査研究活動の充実、情報提供などを図っていただきたい。研修効果の
一般への周知もお願いできればと思う。
-
- 27、高齢者安全対策について(テーマ)
-
- 28、安全運転中央研修所のインストラクターによる各事業者に出向いてもらい
出張研修、出張講座の開催。
パネルディスカッションにもう少し時間がほしかった。
-
- 29、運転寿命と健康、運転寿命を増やすための対策等を取り上げてほしい。
問題は理解できるものの、その対応・対策が不明確であり、次につながる議論が
必要であると感じた。
-
- 30、交通安全は今回のような医学のほか、自動運転技術、ITS等科学力での
解決が重要。これらの研究活動等、ご教示願いたい。
-
- 31、・自動運転SYS展開時のドライバーの安全運転義務の範囲と責任の明確化。
・同上、ドライバーの指導、運転免許制度
-
- 32、交通違反と職業ドライバーの違反状況
-
- 33、自動運転システムと交通事故。
-
- 34、「気付き」について。気付きがあれば失敗を防ぐことが限りなくできる。
共有されればさらに防ぐことができる。
-
- 35、本日のシンポジウムは本当に有意義であり、非常に参考、勉強になった。
今後ともこのようなシンポジウムは行っていただきたい。
-
- 36、デッドマンシステムの開発促進。
-
- 37、高齢運転者と認知症について。
-
- 38、中央研修所は良いと思うが、価格が高すぎて使えない。
-
- 39、運転記録等の証明書について、即時発行願います。
-
- 40、死亡事故とそれ以外の自己の分析。何をすれば一番事故が減るのか。
-
- 41、企業、団体等における安全運転対策についてのシンポジウムの開催。
-
- 42、運転支援システムを上手に、安全に使いこなすためにシステムの理解と
これからのドライバがすべきこと。
-
- 43、安全運転の視点から「自動走行」に期待すること。
-